





所属・職位	大学院 福祉健康科学研究科 附属臨床心理教育研究センター・講師	
氏名	渡邊 晴美 (Watanabe Harumi)	
取得学位	修士 (教育学)、福岡教育大学、1995年3月	
SDGs目標	  	
研究分野	臨床心理学	
研究キーワード	教育臨床・スクールカウンセリング・緊急支援	
研究内容	<ol style="list-style-type: none"> 虐待や引きこもり、発達障害などの複合的課題に対応するための総合的多角的心理支援の資質・能力の涵養 心理専門職として領域横断的心理支援を展開することができる実践力の養成 地域に即した総合的多角的心理支援の基盤となる支援者コミュニティの形成 	
研究業績・アピールポイント	<p>○公認心理師、臨床心理士</p> <p>○ 私はこれまで、20年以上にわたり、大分県内の公立小・中学校でスクールカウンセラー・緊急支援スクールカウンセラーとして教育臨床実践を重ね、その経験をもとにスクールカウンセラースーパーバイザーとしてスクールカウンセラーへの指導・助言などを行うことで県下のスクールカウンセラーをサポートするとともに、教育現場における心理支援専門職の質の向上や後進の育成にも力を注いできました。</p> <p>近年、子どもたちをめぐる諸問題は、虐待、引きこもり、発達障害など様々な「複合的課題」を抱え、より複雑化してきています。これらの諸問題に対して心理専門職として求められるものは、総合的多角的心理支援を展開できる資質と能力です。教育現場で活動する心理支援の専門家であるスクールカウンセラーには、「チーム学校」の一員として、困りを抱える子どもたちの生活をささえるべく、医療・福祉などの他領域と連携して、心理支援を行っていくことが求められます。</p> <p>令和2年4月に設置された臨床心理教育研究センターでは、センターでの活動を通して、複雑化する心の問題に対応することのできる、領域横断的・総合的多角的心理支援の展開ができる心理専門職の育成に取り組んでいます。</p> <p>臨床心理教育研究センターでは、臨床心理学的支援に関する地域貢献、大学院教育、研究及び発信の事業を一体的に進めるとともに、医療・福祉・教育・司法犯罪・産業労働の5領域の架け橋及び地域支援の活性化を推進することにより、地域共生社会の実現に寄与することを目的として様々な活動を行っています。具体的な活動としては、センター内に設置されている心理教育相談室での相談業務、相談業務に係る調査・研究、臨床心理学コースの相談業務実習に対する指導を行っています。</p>	

役員

大学院教育学研究科
教育学部

経済学部

医学部

医学部附属病院

理工学部

福祉健康科学部

その他学内施設等